

2022/8/25 (Thu.) 第138号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
－ 発行所 －
日本医師連盟
東京都文京区本駒込6-12-1
SSかごまち301号室
〒113-0021
TEL: 03-3947-7815
FAX: 03-3947-2662
E-mail: info01@nichiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)

日医連執行委員会を開催

新委員長に松本日医会長を選出!!

日本医師連盟は、7月19日に新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、テレビ会議で執行委員会を開催した。新委員長に松本吉郎日本医師会会長を満場一致で選出し、日医連役員人事、第26回参議院選挙結果について、審議、報告を行った。



就任した松本吉郎日医連委員長

日医連新委員長に松本日医会長を選出

日医連は、七月十九日、執行委員会を開催。小杉悟日医連事務局長の司会により、まず、「委員長選出における議長選出要領」に基づき、委員長選出の議事進行を行う仮議長の選出が行われ、金井忠男埼玉県医師連盟委員長が選任された。

日医連委員長の選出に際し、金井議長は、日医連委員長選出規程に基づき、「委員長は、本

「七月十日に行われた参議院選挙において、日医連組織内候補者である自見はなこ先生は、二十一万三千三百六十九票を獲得し、自民党比例候補者三十三名のうち第八位、医療・介護・社会保障関係十名のうちトップの成績で当選を果たすことができた。これは、都道府県医師連盟、郡市区医師連盟の先生方のご支援、ご協力の賜物と厚く御礼申し上げる。自見先生におかれましては、今後さらなる活躍をされることを期待申し上げます。自見先生のこれからの医政活動に対して、都道府県医師連盟、郡市区医師連盟の先生方のさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。日医の考える医療政策などを政府与党、国会議員の先生方にご理解いただくため、組織内候補である羽生田たかし先生と自見先生とともに、医師会組織が連携をはかって、鋭意訴え掛けをすることが重要である。また、日医および全国の医師会組織が連携して、中央と地方の両面から支えていくことも必要だ。今回、自民党からそれぞれ医師である櫻井充先生（宮城県選挙区）、星北斗先生（福島選挙区）、そして藤井一博先生

連盟の会員であって、日本医師会との綿密な連携と協調をはかるうえでふさわしい者を選出する。委員長候補者につき、日医の推薦を得ることを基本とする」とを説明したうえで、委員長選出規程の手続きに従い、日医からの推薦候補者は松本吉郎日医会長であることを報告、松本日医会長が満場一致で委員長に選出された。

松本委員長挨拶

挨拶に立った松本委員長は、

第26回参議院選挙結果報告

次に、議題「第二十六回参議院選挙結果」において、執行委員会に出席された羽生田、自見、星、藤井の名参議院議員からそ



挨拶する羽生田参議院議員



挨拶する松本日医連委員長

役員人事を承認

れる医療提供体制の実現、そして私どもの考える医療の実践が可能となるよう医師連盟活動を鋭意行っていくことを改めてお伝えする。これからもよろしくお願ひ申し上げる」などと述べた。

松本委員長が議長となり、日医連役員人事、参議院選挙結果について審議、報告が行われた。役員人事について松本委員長は、「公益社団法人の認定等に関する法律に基づき、日医役員のうち日医連役員を兼務できるのは日医役員の三分の一以下に限定されること」を説明し、副委員長六名、常任執行委員については全国の医師連盟の声をでる限り幅広く聞くために八プロックよりそれぞれ一名ずつ合計八名、委員長推薦若干名と合わせて十七名、会計責任者一名、同職務代行者一名、会計監督者三名の各役員と、日医連規約第十四条に規定されている参与十

名について審議し、承認された（日医連役員・執行委員等名簿は別表のとおり）。

自民党比例代表候補の獲得得票数（第二十六回～二十二回）、第二十六回参議院選挙「自見はなこ」都道府県別得票数調、第二十六回・第二十五回・第二十四回参議院選挙 日本医師連盟推薦候補者得票数比較、第二十六回参議院通常選挙日医連推薦候補者当落状況一覧について、それぞれ報告を行った。

質疑・応答に移り、鈴木邦彦常任執行委員は、「茨城県での状況を見る限り、医師会の支援だけではない。組織内候補をも

羽生田 俊 参議院議員 厚生労働副大臣に就任！
自見はなこ 参議院議員 内閣府大臣政務官に就任！

第二次岸田改造内閣の人事が行われ、8月12日、日本医師連盟参与の羽生田俊参議院議員が厚生労働副大臣に就任した。同じく参与の自見はなこ参議院議員が内閣府大臣政務官に就任した。



挨拶する藤井参議院議員



挨拶する星参議院議員

（1面より）
たないほかの団体の協力、自見先生が自民党女性局長で保育・子育てにも力を入れておられることもあり、医師会の会員ではない女性の応援もかなりあった。医療だけではない幅広い社会保障の代表として出られたことも踏まえての今回の得票数だと思ふ」と述べた。松本委員長は、「票を分析することはなかなか難しい点はあるが、医師のみの票ではこれだけの票は取れなかったのはおっしゃるとおりだ」と応じた。また、村上博執行委員は、「もう三年後の改選の準備を始めないといけないと思ふ」と述べた。これに対して松本委員長は、「選挙は相当前から準備を進めなければならな」といふことは、今回の選挙でも前からの選挙でも感じている。秋ぐらいから準備を始めて次の選挙に備えていきたい」と述べて、執行委員会を終了した。

日本医師連盟役員・執行委員等名簿

令和4年7月19日

委員長		松 本 吉 郎				
副委員長		茂 松 茂 人	角 田 徹	猪 口 雄 二	須 藤 英 仁	安 田 健 二
常任執行委員		小 玉 弘 之				
		藤 原 秀 俊	佐 藤 和 宏	猪 口 正 孝	鈴 木 邦 彦	柵 木 充 明
		八 田 昌 樹	松 山 正 春	福 田 稠	金 井 忠 男	菊 岡 正 和
		森 本 紀 彦	蓮 澤 浩 明	松 村 誠	久米川 啓	安 東 範 明
会計責任者		釜 范 敏	城 守 国 斗			
会計責任者職務代行者		篠 原 彰				
会計監督者		桃 木 茂				
		近 藤 稔	関 隆 教	近 藤 邦 夫		
執行委員	都道府県	都道府県医師連盟委員長	負担金賦課対象者数基準「規約第13条2項(2)」			
	北海道	松 家 治 道	鈴 木 伸 和	今 眞 人		
	青 森	高 木 伸 也	奥 寺 良 之			
	岩 手	本 間 博	小 泉 嘉 明			
	宮 城	(佐 藤 和 宏) *2	橋 本 省			
	秋 田	小 泉 ひろみ	伊 藤 伸 一			
	山 形	中 目 千 之	三 條 典 男			
	福 島	佐 藤 武 寿	土 屋 繁 之			
	茨 城	(鈴 木 邦 彦) *2	松 崎 信 夫			
	栃 木	稲 野 秀 孝	長 島 徹			
	群 馬	(須 藤 英 仁) *1	西 松 輝 高			
	埼 玉	(金 井 忠 男) *2	水 谷 元 雄	廣 澤 信 作		
	千 葉	入 江 康 文	金 江 清	東 仲 宣		
	東 京	尾 崎 治 夫	窪 田 美 幸	平 川 博 之	指 田 純	蓮 沼 剛
			目々澤 肇			
	神奈川	(菊 岡 正 和) *2	澤 井 博 司	竹 村 克 二	小 竹 伊津子	
	新 潟	堂 前 洋一郎	川 合 千 尋			
	富 山	馬 瀬 大 助	炭 谷 哲 二			
	石 川	(安 田 健 二) *1	上 田 博			
	福 井	池 端 幸 彦	安 川 繁 博			
	山 梨	手 塚 司 朗	鈴 木 昌 則			
	長 野	竹 重 王 仁	飯 塚 康 彦			
	岐 阜	伊在井 みどり	臼 井 正 明			
	静 岡	紀 平 幸 一	加 陽 直 実	齋 藤 昌 一		
	愛 知	(柵 木 充 明) *2	杉 田 洋 一	檜 尾 富 二	西 山 朗	
	三 重	二 井 栄	馬 岡 晋			
	滋 賀	越 智 眞 一	木 村 隆			
	京 都	松 井 道 宣	濱 島 高 志			
	大 阪	(茂 松 茂 人) *1	加 納 康 至	生 野 弘 道	栗 山 隆 信	
	兵 庫	(八 田 昌 樹) *2	鈴 木 克 司	橋 本 寛	岡 林 孝 直	
	奈 良	(安 東 範 明) *2	友 岡 俊 夫			
	和歌山	平 石 英 三	榎 本 多津子			
	鳥 取	渡 辺 憲	小 林 哲			
	島 根	(森 本 紀 彦) *2	湯 原 紀 二			
	岡 山	(松 山 正 春) *2	大 原 利 憲			
	広 島	(松 村 誠) *2	吉 川 正 哉			
	山 口	加 藤 智 栄	伊 藤 真 一			
	徳 島	齋 藤 義 郎	今 井 義 禮			
	香 川	(久米川 啓) *2	小 西 久 典			
	愛 媛	村 上 博	加 藤 正 隆			
	高 知	野 並 誠 二	計 田 香 子			
	福 岡	(蓮 澤 浩 明) *2	穴 井 堅 能	平 田 泰 彦	酒 井 良	
	佐 賀	松 永 啓 介	志 田 正 典			
	長 崎	森 崎 正 幸	釣 船 崇 仁			
	熊 本	(福 田 稠) *2	水 足 秀一郎			
	大 分	河 野 幸 治	内 田 一 郎			
	宮 崎	河 野 雅 行	吉 田 建 世			
	鹿児島	池 田 琢 哉	大 西 浩 之			
	沖 縄	安 里 哲 好	宮 里 達 也			
参 与		長 島 公 之	江 澤 和 彦	宮 川 政 昭	渡 辺 弘 司	神 村 裕 子
		細 川 秀 一	今 村 英 仁	黒 瀬 巖	羽生田 俊	自 見 英 子

(注) *1は副委員長。*2は常任執行委員。

参議院比例代表選挙

白見はなこ氏2期目当選!!

第26回参議院議員通常選挙は、7月10日投開票が行われた。比例代表（全国区）に日本医師連盟推薦（自民党公認）で立候補していた白見はなこ氏は、21万3369票（自民党8位）で2期目の当選を果たし、1期目にくらべおよそ3千票を上積みし、初当選時と同様に自民党公認の医療・介護・社会保障関係10名のうち、トップの成績での当選であった。

社会保障関係の候補者が乱立する厳しい選挙戦を勝ち抜いた

開票当日は、白見はなこ氏が十九時十分頃に日本医師会館へ到着、十九時三十分過ぎから、松本吉郎「白見はなこ後援会」会長をはじめ日医連役員、羽生田たかし参議院議員、全国の医師連盟役員が、日医会館一階ロビーに参集し、支援団体・関係者とともに開票の様子を見守った。十九時五十五分に、七月八日に凶弾に倒れた安倍晋三元内閣総理大臣の死を悼み、参加者全員で黙祷を捧げた。

二十時の開票開始からほどなくして、マスコミ報道にて福島選挙区において医師で自民党公認の星北斗氏の当選が流れると大きな拍手が沸き起こった。そして司会を務める釜淵敏常任執

行委員が、某放送局ホームページで、白見氏の当選確実が出たことを伝えると、会場内はいっそう大きな歓声と拍手に包まれ、白見氏は支援者に深々と頭を下げた。

松本「白見はなこ後援会」会長は「今回の選挙では、全国比例区で自民党公認の医療・介護・社会保障関係が十人立候補し、大変厳しい選挙戦だった。そのなかで票を固めていただいた」と関係者に謝意を示した。白見氏は「今回の選挙は大変厳しかったが、考えていたよりも早く当選を出していただき、感謝申し上げる。今後も日医と密接に連携し、仕事をしたい」と述べ、詰めかけた支援者一人ひとりと握手を交わした。

散会後、松本「白見はなこ後援会」会長と白見氏は、当選報告のため自民党本部へ向かった。



7月10日 ダルマに目を入れる白見氏



6月22日 出陣式でガンパロー

写真で振り返る
参院選



6月24日 総決起大会で挨拶



6月24日 満員の総決起大会会場



6月22日 遊説スタート



7月10日 当選報告会で茂松茂人日本医師会副会長より花束贈呈



7月9日 選挙戦最終日の街頭演説（小倉）



6月26日 小倉で街頭演説

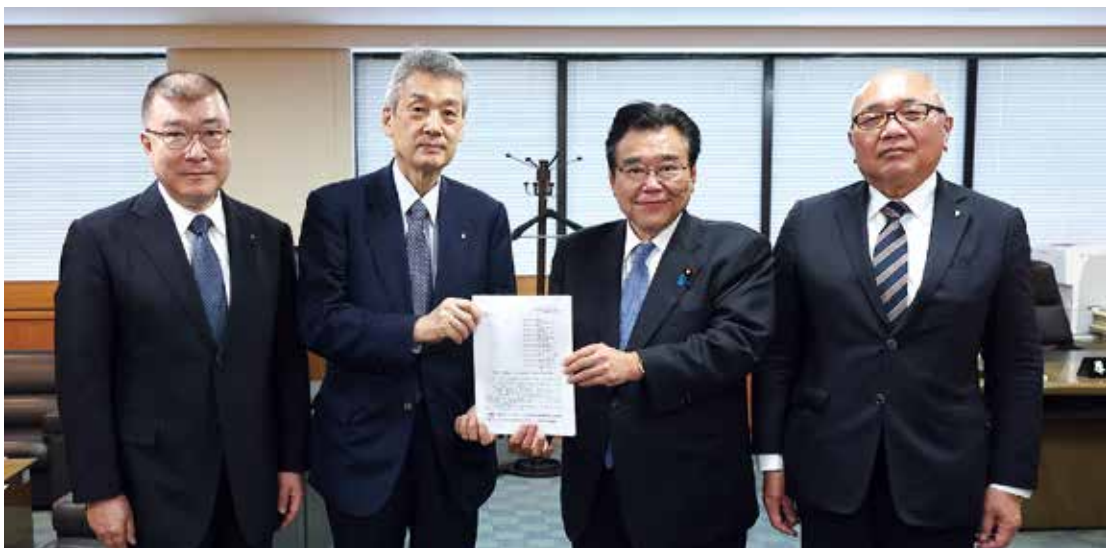


松本日医会長（日医連委員長）、総理官邸で岸田総理と

松本日医会長（日医連委員長） 岸田総理と会談 抗原定性検査キットの 配布に協力する意向を 伝える

松本吉郎日医会長（日医連委員長）は七月二十二日、岸田文雄内閣総理大臣の要請に応じて、総理官邸を急遽訪問し、会談を行った。会談のなかで、岸田総理は発熱外来で起きている混乱を回避しつつ、必要な健康観察等を受けられるよう、発熱等の症状がある人に発熱外来での受診に代えて抗原定性検査キットによる自主検査を受けられる態勢を構築する意向を説明し協力を要請。松本会長は「最大限協力する」との意向を伝えた。

松本吉郎日医会長（日医連委員長）は七月二十九日、猪口雄二日医副会長（日医連副委員長）、釜淵敏日医常任理事（日医連常任執行委員）とともに厚生労働省を訪れ、後藤茂之厚生労働大臣（当時）に「医療機関・介護事業所等における物価高騰



後藤厚生労働大臣（当時）とともに

光熱費の高騰が生じている場合等においても、地方公共団体の判断により、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を検討することも考えられる旨を示しているが、現在の臨時交付金には、他産業です

でに用途が定められたものが多いため、医療・介護に関する事業への適用には至っていない状況がみられていた。今回の要望はそれらの状況を踏まえて行われたものであり、要望書は日本医師会をはじめ、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会、全国老人保健施設協会、全国老人福祉施設協議会、日本認知症グループホーム協会、日本福祉用具供給協会の各会長等の連名により取りまとめられたものとなっている。

そのなかでは、医療機関・介護事業所等は国が定める公定価格により経営するものであり、患者・利用者等の経済状況を考慮すると、物価高騰の影響を価格に転嫁することはできず、もはや経営努力のみでは対応することが困難な状況にあると指摘した。そのうえで、引き続きコロナ禍においても、患者・利用者等に安心・安全で質の高いサービスを提供できるよう、（一）医療機関・介護事業所等に対する、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による支援の確実な実施、（二）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の積み増し、この支援にかかる財源の確保――の二点を求めている。

への支援の拡充に関する要望を「要望書」を手交した。今般の水道光熱費、食材料費等の物価高騰は、医療機関や介護事業所等の経営にも極めて大きな影響を及ぼしている。これに対して、厚生省では事務連絡を発出し、新型コロナウイルスの影響を受けている医療機関において、食事の提供に影響する場合や水道

当日の会談では、後藤厚生大臣が新型コロナウイルスの新規感染者の急激な増加に対応するための協力を感謝の意を表明。松本会長（日医連委員長）は、土日に発熱外来を行う医療機関も徐々に増えてきていることを説明し、引き続き、医師会が「丸」になって対応していく意向を示した。今回の要望に関しては、猪口副会長（日医連副委員長）が東京都病院協会の調査結果を基に、東京都の全病床に換算すると、電気代とガス代の年間負担増加額の合計が約百七十六億七千六百万円になること、四病協の調査（暫定版）では、五月の電気料金は対前年比



後藤厚生労働大臣（当時）と会談

松本日医会長（日医連委員長） 物価高騰への支援の拡充に関する要望を 後藤厚生労働大臣（当時）に提出

後藤厚生労働大臣（当時）に提出

で二・三％に増加していることなど、厳しい経営状況を説明。これに対して、後藤厚生大臣は一定の理解を示し、「政府全体で考えるべき問題であり、今後、その対応策を検討していきたい」と応じた。

その他、会談では抗原定性検査キットを有症状者に無料配布することにも話が及び、松本会長（日医連委員長）は医師会として協力する意向を改めて示した他、配布方法については、地域の実情に応じた仕組みを早期に構築していく必要があること、両者の考えが一致した。

自見先生からご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



松本吉郎日本医師連盟委員長をはじめ、日本医師連盟の先生方には平素より多大なご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。六月二十二日公示、七月十日投票で行われた第二十

ご期待に応えるべく、わが国の社会保障を巡る諸課題に全力で取り組みます。

二期目の抱負（医療政策）

少子高齢化の進展、円安やエネルギー価格上昇による経常収支の悪化など、社会保障費の確保が一段と厳しさを増してきま

時間外労働規制が適用されるため、地域医療を守りつつ過重労働を防ぐための働き方改革の議論も本格化して参ります。国民皆保険を守るため、こうした課題に全力投球します。

二期目の抱負（介護政策）

一期目では、介護現場でのコロナ対策をはじめ、介護従事者の処遇改善や、厚生労働大臣政務官として「医療・介護・保育分野における適正な有料職業紹介事業者の認定制度」創設に携

二期目では、超党派脳卒中・循環器病対策フォーアアップ議員連盟事務局長として、脳卒中や心臓病等のリハビリ支援体制の充実に取り組んだほか、成育基本法推進議員連盟事務局長として、成育基本法や医療的ケア児支援法を通じて乳幼児の股関節脱臼・臼蓋形成不全、難聴、視覚異常、学童期における側弯症などの早期発見・支援の充実に尽力したほか、難聴対策推進議員連盟事務局長として難聴児の療育や高齢者の適切な補聴器へのアクセス推進でも大きな進展がありました。予算の拡充や、担い手となる人材の育成を大きく進めて参ります。

二期目の抱負（子ども政策）

初当選以来、こども政策の総合的な司令塔となる省庁の新設を目指して参りました。二〇一八年十二月に議員立法で成立した成育基本法にも「行政組織の在り方等の見直し」を規定し、二〇二二年二月からはChildren Firstの子ども行政のあり方勉強会」を山田太郎参議院議員と

共同事務局で立ち上げ、本年六月十五日に「こども家庭庁設置法」と「こども基本法」が成立し、ついに来年四月の「こども家庭庁」発足が決まりました。つくって終わりではなく、魂を込めていく作業が二期目の課題です。当初から掲げていた「こども関連予算を倍増して欧州先進国並みのGDP比3%」を目指し、これから年末にかけての予算の議論に臨みます。

医療機関への財政支援措置の延長実現

新型コロナウイルス感染症の第七波が訪れ、医療提供体制が逼迫するなか、七月末までとされていた新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制整備のため、以下の財政支援措置について、九月三十日まで延長することができました。松本委員長をはじめ、日本医師連盟の先生方のお力添えのおかげです。

・転入院支援のための即応病床への緊急支援（一床当たり四百五十万円）
・発熱外来を公表している場合の診療報酬の追加的対応（一日につきプラス二百五十点）

医療・介護・福祉の現場への物価高騰に対する支援について（七月二十六日）

物価高騰の影響が医療・介護・福祉の現場にも出ており、光熱水費等の負担を危惧するお声を多数いただいております。本年四月に予算化された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」一兆円の取扱いのなかで、医療機関、介護施設、保育所・幼稚園・認定こども園等において、食料料費の値上げや、光熱水費の高騰が生じている場合等に、地方公共団体が「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用できる旨の事務連絡が、五月から七月にかけて厚生労働省や内閣府子ども・子育て本部、文部科学省から発出されています。しかし、事務連絡が出され

たタイミングにより六月議会に間に合った自治体が大変少なかったのが現状です。今後、地方公共団体において予算化するためには、八月下旬までに各自治体内で働きかけがなければ、九月議会等で審議する補正予算案の項目に入りません。また、予算規模が大きくなるため、交付金の積み増しも必要になります。こうした状況を受けて、七月二十六日の自民党厚生労働部会で本件を議題として審議しました。医療・介護・福祉事業者に対する臨時交付金による支援の確実な実施と、臨時交付金を積み増して支援にかかる財源の確保を自民党としても強く政府に求めるべきだと私も発言し、厚生労働省からも臨時交付金の積み増し要求をしていくと回答がありました。その結果、八月十五日には岸田文雄内閣総理大臣が臨時交付金の増額を表明されました。予備費等を活用した具体的な対策は、九月上旬に内閣府でとりまとめます。

現場を支えるため、引き続き緊張感をもって取り組んで参ります。ご指導とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

自民党医療系議員団新型コロナウイルス対策本部緊急提言（八月五日）
コロナの感染者数拡大が続くなかで、保健所や医療・介護現場に大きな負担がかかっており、重症化リスクのある高齢者や基礎疾患のある方、妊婦や小児の診療等への影響も懸念されます。人的・物的資源に限界もある状況で、通常医療とコロナ医療を守るため、自民党医療系議

たタイミングにより六月議会に間に合った自治体が大変少なかったのが現状です。今後、地方公共団体において予算化するためには、八月下旬までに各自治体内で働きかけがなければ、九月議会等で審議する補正予算案の項目に入りません。また、予算規模が大きくなるため、交付金の積み増しも必要になります。こうした状況を受けて、七月二十六日の自民党厚生労働部会で本件を議題として審議しました。医療・介護・福祉事業者に対する臨時交付金による支援の確実な実施と、臨時交付金を積み増して支援にかかる財源の確保を自民党としても強く政府に求めるべきだと私も発言し、厚生労働省からも臨時交付金の積み増し要求をしていくと回答がありました。その結果、八月十五日には岸田文雄内閣総理大臣が臨時交付金の増額を表明されました。予備費等を活用した具体的な対策は、九月上旬に内閣府でとりまとめます。

現場を支えるため、引き続き緊張感をもって取り組んで参ります。ご指導とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

（6面へ）



8月12日 首相公邸（旧官邸）にて



当選確定後、自民党本部にて松本吉郎後援会長と



7月10日 日本医師会館にて当選報告会



6月28日 群馬県遊説



6月29日 茨城県遊説



7月9日 福岡県街頭演説

・重症化リスクの高いコロナ自宅療養患者への電話等初再診の追加的対応（一日につきプラス百四十七点）
・高齢者施設等への看護職員派遣に対する補助引上げ（一時間当たり五千五百二十円→八千二百八十円）

たタイミングにより六月議会に間に合った自治体が大変少なかったのが現状です。今後、地方公共団体において予算化するためには、八月下旬までに各自治体内で働きかけがなければ、九月議会等で審議する補正予算案の項目に入りません。また、予算規模が大きくなるため、交付金の積み増しも必要になります。こうした状況を受けて、七月二十六日の自民党厚生労働部会で本件を議題として審議しました。医療・介護・福祉事業者に対する臨時交付金による支援の確実な実施と、臨時交付金を積み増して支援にかかる財源の確保を自民党としても強く政府に求めるべきだと私も発言し、厚生労働省からも臨時交付金の積み増し要求をしていくと回答がありました。その結果、八月十五日には岸田文雄内閣総理大臣が臨時交付金の増額を表明されました。予備費等を活用した具体的な対策は、九月上旬に内閣府でとりまとめます。

(5面より)

員団新型コロナウイルス対策本部として政府への緊急提言を行いました。提言では、①感染状況サーベイランス等の全数把握から定点把握への移行、②低リスク者が

発熱外来受診を控えるよう周知、③感染対策の各分野における今後の段階的緩和について国民に工程を示しコミュニケーションをはかること、④小児のワクチン接種に関する広報強化と

国による接種費用の上乗せ、以上四点を柱としています。

二期目のスタートと同時に、政策に全力投球の日々です。ご指導とご支援、何卒よろしくお願い申し上げます。

羽生田先生からご寄稿いただきました

参議院議員

羽生田 たかし 活動報告



議員選挙において、自見はなこ

平素より私の政治活動にご理解とご協力をいただいております。ことに心より感謝申し上げます。第二次岸田改造内閣において厚生労働副大臣を拝命いたしました。去る八月十二日に岸田文雄内閣総理大臣より任命を受け、その後皇居において天皇陛下よりご認証を賜りました。これもひとえに、皆さま方のお陰であり、参議院議員として九年・日本医師会役員を十二年と長きにわたりご指導をいただいている賜物と存じます。

また、新執行部体制の船出とともに、先の第二十六回参議院



加藤勝信厚生労働大臣と新副大臣・政務官

議員選挙において、自見はなこ参議院議員が医療界で一位の二十一万三千三百六十九票という得票で当選されたことは、医師会にとって大きな力となりました。これは、全国の先生方が、コロナ禍でありましたが熱心にお支えいただき、医療現場の真情を国会へ届けてほしいという声の表れであったこと、また何より自見参議院議員自身がこの六年間にさまざまな分野でさまざまな課題に懸命に取り組んだことへの評価であると思います。同時に、昨今の選挙において忘れてならないのはネット選挙対策で、今回LINEやSNSでの活動周知、一般有権者から候補者へのアクセスの確保といった、これまでに取り組んでいなかった試みに大きくウイングを広げた成果であるとも思います。

この二十万を超す大きな得票は新執行部に対してももちろん自見参議院議員に対しても、そして医師会に対しても今後大きな支えになる、一筋の光であると感じて

います。

さて、現在新型コロナウイルス感染症の第七波といわれ、過去最多となる感染者数を連日更新しています。それとともに医療逼迫、医療崩壊が起きていると報道されています。しかしながら医療現場はこのコロナ禍が始まってから三年ほどずっと緊張と逼迫が続いております。行動制限のない休暇・連休の間も医療従事者は医療現場を支え続けており、自身だけでなくその家族にも行動自粛を求めています。それは自分が通う医療現場で、同僚や疾患のある患者さまへ感染させたくないという思いからであり、命・健康を守るべき医療現場で、それを奪うことになってはいけないという使命感からであります。

しかしながら、規制緩和が続くたびに感染者数が再拡大してきました。決して経済活動再開や規制緩和を批判しているのではなく、その影に、医療従事者の献身的な支えがあったから、乗り越えてこられたことを政府や国民に知っていただきたいの



自見はなこ参議院議員街宣車にメッセージ

です。

いま、医療現場では医療従事者の感染や濃厚接触が増え、出勤調整がままならず受診制限などが起こっており、これに対し政府は待機期間短縮などで対応を試みています。医療従事者に関しては感染対策が徹底しているの理解できますが、一般の方にも同じ基準を持ち込もうとしていることに懸念を感じます。これはしっかりとした検証が必要であると日本医師会も警鐘を鳴らしているところであり

また併せて申し上げると、今後医療従事者不足はコロナ如何を問わず、医師の働き方改革や人口減少社会など複合的な要因からも厳しさが増す一方であると考えています。政府は財政論主導による切り詰め、削減、縮小ありきの未来像ではなく、いかなる社会の状態においても日本が暮らす人々が過不足なく十分に医療が受けられる体制を構築していくべきであります。医療を医療従事者の使命感による献身的対応のうえに成り立たせるのではなく、医療従事者が安心して働ける環境と十分な財源を確保することこそが喫緊の課題である、今回のコロナ禍に強く再確認いたしました。

世界をみるとロシアによるウクライナ侵略行為や、中国による度重なる領海侵犯、北朝鮮による国際法違反を繰り返すミサイル発射・核実験など、すべて日本の隣国で起きており他人事ではないなか、新興感染症などが国内情勢に迫り打ちをかけ、いつ何時状況が変化するかもしれ

れません。そのような社会環境の変化においても、過不足なく医療が提供できる体制、国家安全保障としての医療を必ず確保する必要があることは明白であります。

国会では今回の参議院選挙で、日本医師連盟推薦の自見参議院議員に加え、福島選挙区の星北斗参議院議員、比例特定枠で鳥取の藤井一博参議院議員が初当選をされ、また宮城選挙区の櫻井充参議院議員が自民党へ入党されるなど、新しい医師国会議員の仲間を迎えることができました。これから松本委員長とともに医師国会議員とさらに緊密な連携を深め、医療現場の現実と日本の医療の未来をしっかり見据えた政策を打ち出し実行して参りたいと思います。

私も国政に送っていただき九年が過ぎました。日本医師会にいる時から関わってきた医療政策もそれぞれに長い歴史と変遷があります。守ってゆくもの、そして変えてゆくべきもの、しっかり見極め、医療の継続性を担保できる政策を推進していくべく、医師国会議員としての使命と責任を果たしこれからも国政で邁進して参ります。



自民党参議院医師の会にて



松本吉郎日本医師会長報告会にて



日本医師連盟執行委員会に出席



当選直後の喜びショット



星北斗総決起大会



松本衆議院議員と横倉義武日本医師会名誉会長と



松本尚衆議院議員と松本日医会長訪問



藤井一博参議院議員と世耕弘成参議院幹事長を訪問